



学校だより

〒617-0824 長岡京市天神4丁目5番1号

<http://www.kyoto-be.ne.jp/nagaoka-jhs/cms/>

令和4年度

1月号

TEL: 951-1171

FAX: 951-8427

新しい年のはじまりです ~自分の声(Voice)をもつことの大切さ~

校長 湯浅修一

令和5年がスタートし、1か月ほどが過ぎました。この冬休み、大きな事故や怪我もなく、3学期が迎えられたことをうれしく思います。その一方で、コロナだけではなく、今年はインフルエンザも再び流行し始め、まだまだ気をつけなければならない日々が続いています。そのような状況下でも、毎朝、元気な声で挨拶をしてくれる皆さん、気持ちも新たに一生懸命に授業や部活動に取り組む皆さんの姿を見て、本当にうれしい限りです。

3学期は、登校日数にして2学期の半分ほど、とても短い学期ですが、それぞれの学年で春からの進級・進学に向けて、その準備期間として、非常に重要です。一年をしっかりと振り返り、皆さんの春からのさらなる飛躍・成長につなげていってほしいと願っています。

さて、先日、3年生の皆さん全員に「面接練習」を行いました。実際に高校入試で面接試験を受ける予定の人も、その予定のない人も、これからの人生では大事な勉強の機会であるということで、全員、真剣な姿勢で臨む姿が見られました。短い時間ではありましたが、私がどのような質問をしても、「自分の言葉」で、「自分の考えや気持ち」を表現しようとしていた3年生たちに、この中学校3年間の「大きな成長の跡」を感じました。

私の投げかける様々な質問に対し、ほとんどの人が、しっかりと質問を受け止め、しっかりと投げ返す、というコミュニケーションの基本ができていたと思います。面接の中で、自分の興味のある分野、例えば、「鉄道」や「アニメ」「生物」「宇宙」等について、自分の最近読んだ書籍や、将来の夢と関連付けて、一生懸命語ろうとしていた人がいたことが印象的でした。

今回は、このようなことを踏まえて、タイトルにあるように「自分の声(Voice)をもつ」ということについて、私の考えをお話したいと思います。

「声」のことを英語では「Voice(ヴォイス)」と言います。でもここで使う「声(Voice)」は、人間の声帯が震えることで発する、いわゆる「声(音)」のことではありません。

面接を受けるにあたって、例えば、担任の先生から「質問に答える時には、大きな声で、はっきりとわかりやすく答えることが大事です」とアドバイスをもらっていることでしょうか。それはそのとおりで、正しいです。面接試験で、面接官に聞こえない声で答えても、何を言っているかわからない返答をしても、おそらく減点されてしまうでしょうから。

ただし、これから皆さんがいろいろな場面で、例えば、授業中に発言する場面、誰かと何かのテーマについて会話する場面等で、**「自分の意見や考え」を伝えようとするときに、もしくは「誰かの意見や考え」を聞こうとしているときに、いちばん大事にしなければならないのは、「大きな声で、はっきり、わかりやすく」言っているかという視点ではない、ということです。**私たちが「大きな声で、はっきり、わかりやすく」言っていること、というのは、ありきたりな内容になりがちです。そんなありきたりな内容ばかり話していると、もしくは聞いてばかりいると、人間は「思考停止」に陥ります。そして、そのうちに「思考停止」している自分自身にさえ気づけなくなってしまうのです。

3年生の面接練習の中で、本当に数人でしたが、「自分が中学校生活で本当に苦しい時期を過ごしてきたこと」「自分が昆虫や鉄道がどれくらい好きで、そういう興味がどう将来に活かしていきたいのか」というようなことを、大きな声でなくても、たどたどしくも言葉の一つひとつを選びながら、また、答えの中で「ぼやっとした自分の考え」を整理しながら、話そうとしていた人がいました。きっとこのような人たちは、面接が終わってから「…あんな内容を話してしまったけれど、きっと校長先生は減点しているのだろうな…」とか「…あんな支離滅裂な話し方では、校長先生には、きっと気持ちが伝わらなかつただろうな…」と反省しているかもしれません。

でも安心してください。ちゃんと伝わっていましたから。なぜなら…このような人たちは、間違いなく「自分の声(Voice)」で語ることができていたから、です。

「自分の声(Voice)」というのは、私たちが「自分だけが持っている考え・意見や気持ち(感情)」を語ることでできる「声(Voice)」のことを指しています。このような「声(Voice)」で語るとき、私たちは自分の心の、それもかなり深いところで、ぼやっとしていたけれども、つまり、明確な形ははっきりとわからないけれども、それを不必要にいじることなく、変に飾ることもなく表現することができるのです。

そしてそのような「声(Voice)」で語られたことは、聞いているものの心にじわじわとしみ込めます。これは、必ずしも話したり、聞いたりする場面に限られたことではなく、何かを書く場面、例えば、作文・感想文であっても、レポートでも、同じなのです。**自分は、「自分の声(Voice)」で語っているか、他者が「自分の声(Voice)」で語っていることに耳を傾けられるか、というのは、よく世間で大事だと言われている「コミュニケーション能力」や「メッセージ性」等というものとは、まったく次元の違う大切な「人間性」であり、「人としての成熟の証」なのです。**

日々の授業で、基礎的な力をしっかりと身につけてくれている皆さんに、今後の自分自身のさらなる成長・成熟のために、自分の「声(Voice)」で語ること、そして、他者の「声(Voice)」にしっかりと耳を傾けられることの大切さについて、ぜひ意識しておいて欲しいと思います。

◆保護者の皆様には、新型コロナウイルスの感染拡大とともにインフルエンザも流行し始める中、本校の教育活動に対しまして継続的に多大なるご理解・ご協力をいただいておりますこと心から感謝申し上げます。
先日行われた久しぶりの「授業参観」におきましても、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。学校行事や授業等も少しずつコロナ前に戻りつつありますが、まだまだ学級閉鎖が出る等の現状も見られ、感染症の拡大防止に向けての配慮が必要な状況は続いております。本年も引き続き、ご協力をいただきますようどうかよろしくご願ひ申し上げます。

授業参観を実施しました！

1月20日（金）の5・6校時に1・2年生の授業参観を実施しました。

インフルエンザの流行により、残念ながら学級閉鎖になったクラスがありましたが、約100名の保護者の皆さまに参観していただきました。寒い中、ありがとうございました。



★吹奏楽部京都府アンサンブルコンテスト『金賞』受賞

12月24日（水）八幡市文化センターで開催されました第55回京都府アンサンブルコンテスト木管6重奏で、本校吹奏楽部が『金賞』を受賞しました。日頃から熱心に取り組んでいる成果だと思います。おめでとうございます。



■卒業記念講演

3月14日（火）に開催！

今年度の卒業記念講演は、ウスビ・サコ様をお招きして実施する予定にしております。ウスビ・サコ様はマリ共和国出身の教育者で2018年から2022年まで京都精華大学の学長を務められました。アフリカ系として初めて、日本の大学の学長になられた方です。

どんなお話しをしていただけるのか、楽しみにしたいと思います。

全国都道府県対抗女子駅伝大会に出場！ 区間4位の激走！

1月15日（日）に京都市（たけびしスタジアム京都発着）で開催された第41回全国都道府県対抗女子駅伝大会で、本校の生徒が第8区を区間4位で走り、京都府の準優勝に大きく貢献しました。5位でたすきを受け取りそのまま順位を落とすことなく、第9区（アンカー）の選手にたすきをつなぐことができました。

一生懸命陸上競技に取り組んできた成果が発揮され、本当に素晴らしい走りでした。おめでとうございます。

2月 主な行事

日	曜日	内容
1	水	完全下校 17:15 になります。
1	水	新入生保護者説明会
10	金	京阪神私立入試スタート
16	木	公立前期選抜入試（～17日）
17	金	学年末テスト前学習（～20日）
21	火	学年末テスト（～24日）
27	月	実行委員会（後期最終）

3月 主な行事

日	曜日	内容
1	水	完全下校 17:30 になります。
8	水	公立中期選抜入試
9	木	3年生球技大会
14	火	卒業記念講演
15	水	第68回卒業証書授与式
16	木	2年生球技大会
17	金	1年生球技大会
20	月	1・2年生対象進路説明会
24	金	修了式
26	日	第22回吹奏楽定期演奏会

■忘れ物・落とし物について

保護者の皆さまも

ご来校の際、ご覧になっているかもしれませんが、現在、「ロッカー」にはたくさん忘れ物・落とし物があります。年度末には一旦整理したいと考えておりますので、生徒の皆さんは心当たりのあるものが無いか、確認をお願いします。

